

I S H I N P R E S S

橋下徹
大阪維新の会代表



One Osaka!

大阪維新プレス

2011秋 大阪市政特集号

発行元 大阪維新の会 〒542-0082 大阪市中央区島之内1-17-16 三栄長堀ビル2F
Tel.06-6120-5581 Fax.06-6120-5582 http://oneosaka.jp

みなさんと共に

維新の挑戦!

大阪維新の会 幹事長

松井一郎

● 大阪府議会議員
● 昭和39年1月31日生まれ **47**歳



大阪維新の会 代表

橋下徹

● 前大阪府知事
● 昭和44年6月29日生まれ **42**歳



挑戦! 敬老パスはなくしません!

まず、街で一番の問題意識になっている、大阪維新の会が交通局を民営化することにより敬老パスの福祉がなくなるのでは?との問いに対して、我々は「敬老パスは維持する」と訴えます。その理由として、敬老パスは大阪市の福祉の予算で年間80億円が交通局に支払われているのが現状で、交通局が民営化になったとしても福祉の予算はなんら変わらないのです。福祉の予算としてこれからも継続して行くなれば、交通局だけにしか利用出来ないものよりも、私鉄を含む他の交通機関へのサービス拡張や、交通費を必要としない方への還元を図っていくことも検討すべきであると考えます。

挑戦! 地域コミュニティを守ります!

つぎに、橋下市政がマスコミに多く取り上げられている言葉に「大阪市をつぶす」とありますが、正しくは「大阪市役所の組織の解体」を目指すのです。縦割り行政により町会に降りてくる役割が増え、地域コミュニティは後継者不足に頭を抱えています。その現状を打破するために、各区役所の組織を充実させ、区の特徴にあった町会運営が出来るよう補助を行う方針としています。もちろん、現状の町会等の地域団体を変えることはなく、地域主体の活動を支援するのが目的です。

挑戦! 市役所から財源/権限を取り戻します!

地域コミュニティを守り、自分たちの街のことは自分たちで決める形をつくる。現状の窓口業務しか出来ず、ガードレールひとつ直す力の無い区役所から住民自治のための区役所にします。全てを市役所のある中ノ島から各区に同じように降りてくる指示を待つのではなく、たとえば道路の補修から図書館の整備までを一番身近な区役所で、優先順位から予算まで決定出来る仕組みを構築します。今までにはない開かれた行政を実現するために、もちろん区長は選挙で選び住民の声が届きやすい状態にします。維新の会が行った区区会議では傍聴席の市民が立ち上がり「今まではこのような意見言う場が無かった、これからの区政はこうあるべきだ」と維新が提案する新しい大阪に賛成を唱える声があがっています。

挑戦! 民間でできることは民間に!

交通局などは民間が運営することで、高すぎる行政コストを下げる事ができます。さらに、市営地下鉄を大阪市外に延伸することや私鉄との相互乗り入れなどサービスが確実に向上します。その他、多すぎる市役所の事業を民間でできることは民間に任せることで、行政コストの引き下げはもちろんのこと、民間の経済活動を促進します。それにより、大阪経済の活性化に繋げることが出来ます。

挑戦! しがらみある政治からの脱却!

大阪市役所の根っこである外郭団体、まだまだある市役所OBの天下り、ヤミ専従等しがらみだらけの組織を解体し、既得権益から本来の市民のために税金を使える仕組みに変えます。これを頑なに拒み組織を守ることは民意を反映していない証拠だと考えます。大阪維新の会は市民の利益を第一優先とし、現在の労働組合を守る組織やトップを変えとともに、市民の信託にこたえるため、現状の市役所組織と議会のなれ合いを正していきます。我々は、現状の政策意思の違う会派が談合し、何も決められない形ばかりの議会運営を変えて行く決意です。

平松市長が守っているのは市の労働組合です。市民の皆さんにはありません。



統治機構を変える、体制を変える。

権限・財源を今の権力機構（体制）から、住民へ取り戻します。

議会改革

大阪市会基本条例案

開かれた議会。議員が予算編成に関与。

- 休日・夜間の議会を開催し、市民による議会活動への参加の機会を。
- インターネット中継などを利用し、情報公開を徹底。
- 市民の声を届けるため政策立案機能を強化。
- 市民に分かりやすい議会や委員会に。
- 広く市民の意見を聞くために委員会で参考人制度を積極的に活用。
- 市長は重要な計画、政策、事業等を掲げる際は議会に根拠やコストを説明。

議員同士の活発な議論を 私たち市民がチェック

▶ 他会派の反対で否決されました

市役所改革

大阪市職員基本条例案

市民からの信頼を取り戻し、市民のための組織に。～能力・実績型の人事制度を導入～

- 能力、実績、情熱のある若手職員も抜擢。
- 職員評価を明確にし、組織を活性化。
- 民間企業の給与水準の実現。
- 市役所OBの外郭団体等への天下りを廃止し、外郭団体を全廃。



▶ 他会派の反対で否決されました

教育改革

大阪市教育基本条例案

子供たちの未来のために大阪市の教育を再生

- 保護者や地域住民が参画できる学校へ。
- 教育水準向上のために学校選択制を導入。
- 校長の権限を強化し、地域の教育ニーズに合わせた特徴ある学校を実現。
- 校長を公募制とし、やる気のある若い教員や民間人も登用。
- 指導力不足の教員に対する再教育プログラムの確立。

市民の意見を教育システムに反映

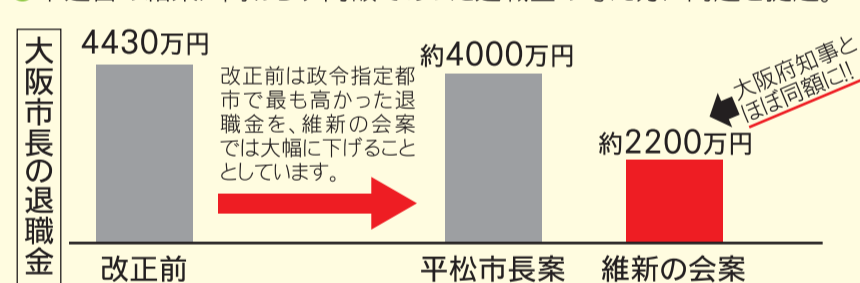
▶ 他会派の反対で否決されました

行政改革

市長等に対する退職手当の額の特例に関する条例案

市長・副市長の退職金を半減

- 市長/副市長の退職金を下げることで、行政コストを削減。
- 大阪府が財政運営の厳しい団体であるということを再認識していただく。
- 市運営の結果に関わらず同額であった退職金の考え方に問題を提起。



▶ 他会派の反対で否決されました

市民サービスの向上

住民基本台帳カードの利用に関する条例案

コンビニで証明書発行が可能に

- 住基カードを使って全国のコンビニで住民票や印鑑証明書などの証明書発行が可能に。

市民サービスをもっと身近に

▶ 他会派の反対で否決されました

子育て支援

子どもたちが元気にすごせる環境。所得制限無しで、**中学校卒業までの通院・入院の医療費無償化**

議会改革 議員定数の適正化による議会改革

現在の86名から69名へ、議員定数を大幅削減。



議会改革 改革の第一歩は議員自身から。

議員報酬を30%カット。現行の時限的措置を撤廃。



公明党・自民党・みらい（旧民主党）の反対により、上記条例案は否決されました。大阪を再生できるのは大阪維新の会だけです!!